

第21回広陵町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：令和元年6月20日(木) 10:00～11:00

場所：広陵町役場3階大会議室

参加者：会長（山村委員）、副会長（乾委員）、奥本委員（代理：谷）、竹村委員、伊藤委員（代理：小西）、霜永委員、島中委員（代理：今谷）、金口委員、米田委員、古田委員、吉田委員（委員11名）、事務局5名、

議事概要

1 開会

本日、17名のうち11名の参加を確認しており、会議は成立しています。

2 会長挨拶

10月1日以降に再編予定ですが、それまでに国や県の支援をいただくため、所定の手続きが必要であり、ご意見をいただきたいです。全国的な問題である、交通弱者のための公共交通のあり方、また高齢運転者の免許返納促進に向けた取り組みに対し、デマンド交通の提案やタクシーチケットの配布意見もちょうだいしています。それに加え、福祉福祉有償運送事業についてもご意見いただきたいです。

3 議題

（1）地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

事務局：資料説明

会長：ご質問、ご意見ございませんか。

会長：承認で意義なしでよろしいか。

（意義なし）

承認とさせていただきます。

（2）消費税率改定による広陵元気号の運賃（案）について

事務局：資料説明

会長：ご質問、ご意見ございませんか。

会長：承認で意義なしでよろしいか。

（意義なし）

承認とさせていただきます。

（3）路線の休止又は廃止に伴う事業計画の変更手続（案）について

事務局：資料説明

会長：ご質問、ご意見ございませんか。

委員：事務局がおっしゃった3（奈良県地域交通改善協議会幹事会に届出を行い、広陵町地域公共交通活性化協議会を幹事会の分科会とする）の案が良いと思います。やはり一番簡易な方法で事務を進めるのが良いと思います。

会長 : 運輸局としては、これで特に問題はありますか。

委員 : 広陵町内の路線の休廃止で考えた場合、今回のような地域公共交通活性化協議会で話し合いをした方が、より細部にわたって話を詰められるので、3の案が良いと思います。

会長 : 広陵町地域公共交通活性化協議会でしっかりと議論をしたという前提で、時間の短縮ができるということですね。

会長 : これで事務を進めることに意義なしでよろしいか。
(意義なし)
承認とさせていただきます。

(4) 令和元年10月1日以降の広陵元気号停留所名称(案)について

事務局 : 資料説明

会長 : ご質問、ご意見ございませんか。

委員 : 新しい停留所を設けられるということですが、変更の理由は何ですか。

事務局 : 10月1日以降新ルートで運行するので、それに伴い名称を変更します。その背景にあるのが、昨年度、住民ワークショップにて広陵元気号の効果検証を行った結果、現在のルートやダイヤで運行するより、違う運行計画で運行する方が、より利用してもらえるのではないか、という結論に至ったからです。

委員 : 話は変わりますが、年間の各停留所の乗降者数がわかる資料がほしいです。

事務局 : 承知しました。

会長 : 名称はこれでよろしいか。
(意義なし)
承認とさせていただきます。

4 その他

(1) 福祉有償運送事業について

事務局 : 資料説明

会長 : ご質問、ご意見ございませんか。

委員 : NPO法人等から要望があったのですか。

事務局 : 福祉有償運送を行うには、どうすれば良いのかという問い合わせがありました。

委員 : 陸運局に問い合わせれば良いのではないですか。

事務局 : この協議会で議論する内容ではないが、旅客を運ぶということで、公共交通との関係もあるので、その他項目として説明させていただいています。

会長 : この事業を行うことで、広陵元気号やタクシー業界に与える影響は、中和地区の協議会で議論されると思われるが、想定できる影響はあるか、運輸局から意見をいただきたいです。

委員 : タクシー事業者と競合すると思われるので、中和地区の協議会でも、委員としてタクシー事業者に入ってもらいます。

委員 : 福祉有償運送事業だけで採算をとれないと考えます。実際に事業の認可を得たが、需要がないので廃業している事業者もあります。実際、タクシーと福祉有償運送とは

料金はそれほど変わりません。ただ、介助はヘルパーの資格を持った、福祉有償運送事業者でないとできません。この有償運送がタクシーより極端に安いとなれば影響が出ると思いますが、それほど出ないと思います。

会長 : 運送の区域について、中和地区の外へ出てはいけないのですか。

事務局 : 発地または着地のいずれかが地区内にあれば良いので、地区外に出て帰ってくることはできます。

会長 : その他にご質問、ご意見ございませんか。

会長 : 他にありませんか。会議を閉じさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

事務局 : 次回の会議は7月下旬もしくは8月上旬を予定しています。正式に後日通知を差し上げます。次回のテーマは、地域内フィーダー系統運行計画の変更についてです。

会長 : 本日は、お忙しい中ありがとうございます。引き続き、ご協力を賜ります。

(以上)